

# 母子保健事業の取組について

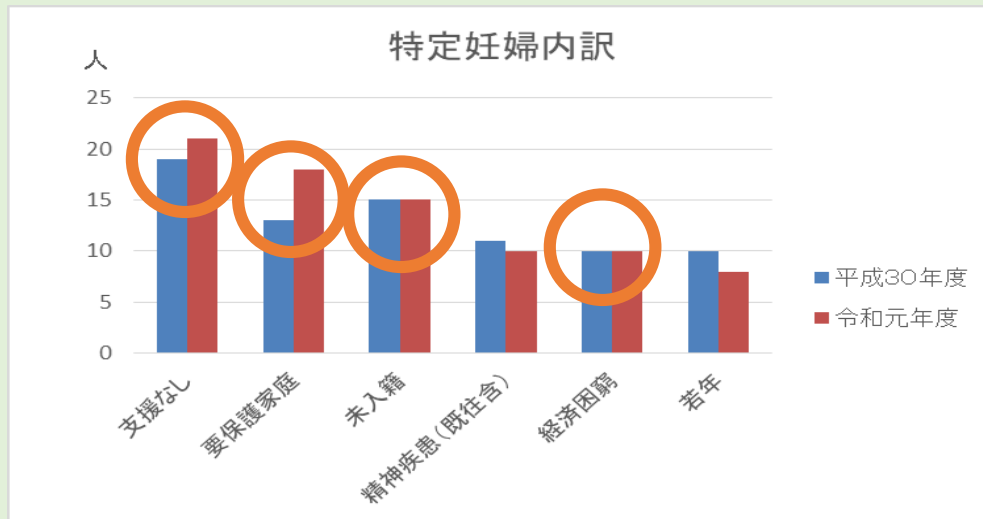
# 現 状

## 1. 産後に比べ、妊娠中のサービスや支援が少ない。

加賀市健やか親子21計画(第2次後期)「関係機関への意見聴取」より

- ・産後の支援は整ってきているが、妊娠中の支援やサービスがまだ少ない。
- ・妊娠中の家事代行などあるとよい。

・支援なし、要保護家庭、未入籍、経済困窮等、妊娠期から支援が必要な特定妊婦が増加している。



## 妊婦訪問件数・・・増加傾向

	平成29年度	平成30年度	令和1年度
妊婦訪問(実人数)	21人	16人	22人 ↑
妊婦訪問(延人数)	35人	21人	43人 ↑

\* 特定妊婦とは、出産後の子どもの養育について出産前から支援を行うことが特に必要と認められる妊婦

# 現 状

## 2. 現状のサービスの利用者負担額は、生活保護世帯は無料だが、それ以外の人是有料のため利用しにくい。

＜実績・見込＞		単位：延人数(実人数)			
		H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度見込
宿泊型	課税世帯	0	5(1)	0	2(1)
	非課税世帯	7(1)	0	0	5(1)
通所型	課税世帯	0	2(2)	1(1)	2(1)
	非課税世帯	0	0	0	2(1)
訪問型	課税世帯	0	10(3) * うち双胎5(1)	0	5(1)
	非課税世帯	0	5(1)	0	10(2)

・コロナ禍により、産前産後の育児面やメンタル面のインフォーマルサポートが脆弱化。

里帰りができない。あてにしていた実家の支援がない。

入院中の面会制限・立ち合い分娩ができなくてさみしい思いをした。

# 現 状

## 3. 多胎妊婦は切迫流早産も多く、産後の育児は想像を超える負担がある。

妊娠中は、毎週健診に行かなければいけないことがあった。  
14回では足りなかった。

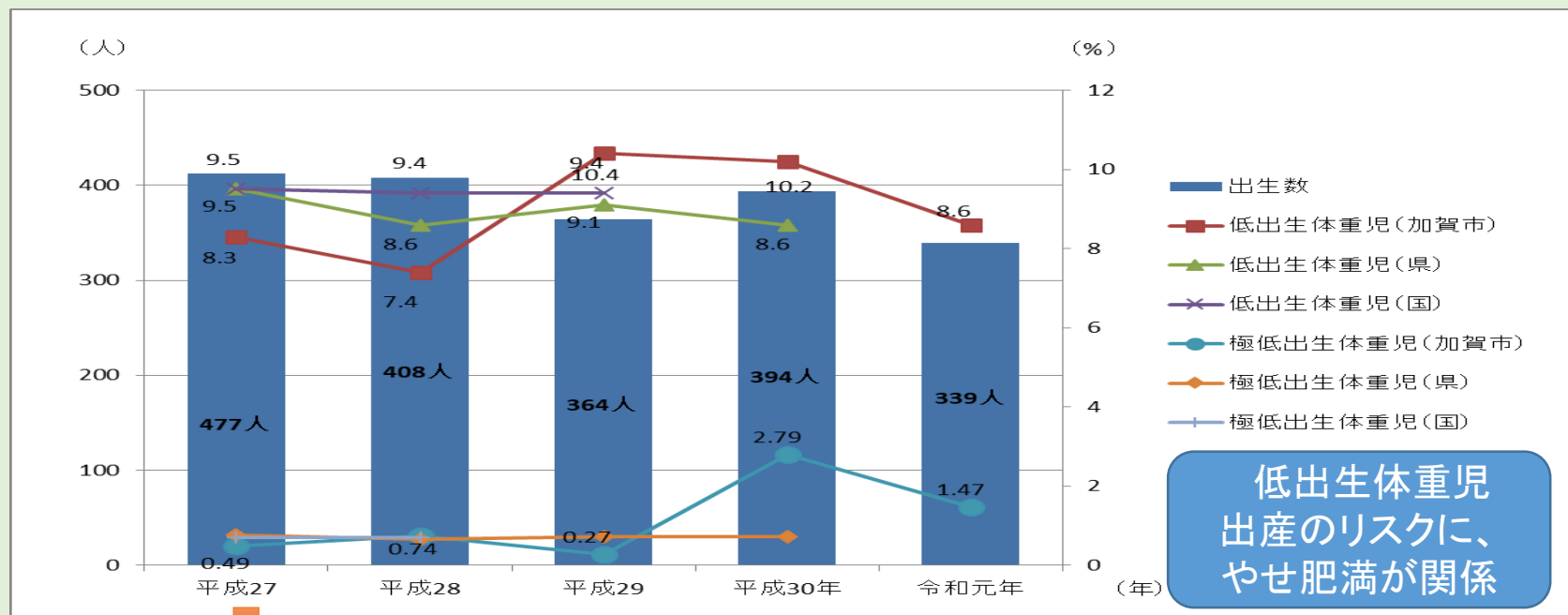
妊娠中は安静にするように言われたけど、家事や育児を頼める人がいなかった。

一人が寝たと思うと、もう一人が泣いて。授乳して、おむつを替えて、寝かしつけて、1日が過ぎるので、ゆっくり休める時間がない。

毎日の沐浴など、一人でできないことが多くてヘルパーを利用して助かったが、もう少し回数が使えたらよかった。

# 現 状

## 4. 妊娠期パパママ教室の「からだと食事編」の参加が少ない(低出生体重児出産・早産予防対策)。



低出生体重児  
出産のリスクに、  
やせ肥満が関係

加賀市健やか親子21計画  
(第2次後期)  
目標1: 低出生体重児につながるリスクの軽減として、生活習慣(食生活)の改善については、試食なども取り入れて具体的に提案していきます。

	出産と育児編		からだと栄養編	
	ママ	パパ	ママ	パパ
平成30年度	23.8%	12.0%	18.5%	21.0%
令和1年度	23.6%	20.2%	19.6%	14.1%
令和2年度 (R2.12.14現在)	21.8%	21.8%	6.6% ↓	3.8% ↓

# 課題

1. 妊娠中から、産後の生活についてイメージ出来て、寄り添う支援(育児モデル)が必要
2. 支援がない妊産婦が利用しやすい事業化(コロナ禍の対策)
3. 多胎妊産婦の利用しやすい支援が必要
4. 低出生体重児・早産予防対策

# 令和3年度の対策(案)

## 1. 安心安全な妊娠・出産・産後の環境調整や支援体制の充実

(新規)産前家庭支援ヘルパー派遣事業の導入

(拡充)産婦が利用しやすい産後ケア事業化

- ・全利用者:利用者負担額検討

# 令和3年度の対策(案)

## 2. 多胎妊産婦の支援

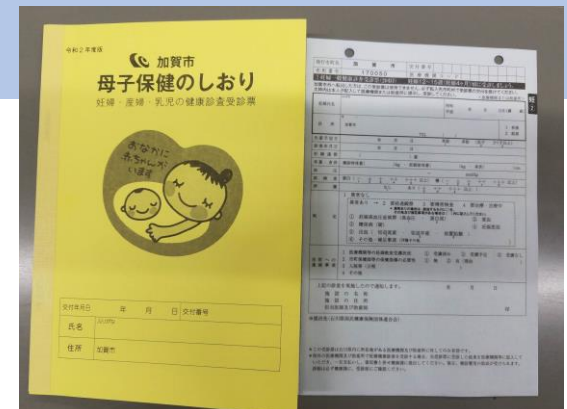
### (拡充) 多胎児の妊産婦が利用しやすい事業化

- ・産前・産後家庭支援ヘルパー派遣事業利用負担無料
- ・利用回数拡大

### (新規) 妊婦健診助成による負担軽減

(国補助金: 多胎妊娠の妊婦健康診査支援事業)

- ・予定日前5回分の妊婦健診費用を助成





# 令和3年度の対策(案)

## 3. 低出生体重児・早産予防

(拡充) 妊娠期パパママ教室(からだと食事編)の見直し

- ・ネームバリューのある「タニタ食堂」のメニューを教材として、薄味の体験や野菜などの食事の適量やバランスを夫婦で学習する。

